

F-0099

0297

電送第 24277 號  
 昭和十四年九月八日 午後八時 分發

主管 阿部外務大臣  
 主任 阿部外務大臣

電信課長 發電係

昭和十四年九月八日 日越草

12 57

阿部外務大臣

千葉臺灣外務部長

支那船舶取扱二箇之件

第一二八號

電報第一一九号二箇ニ

支那船舶取扱ニ付支那國所屬船舶取扱ニ関スル貴省御意見至急御回電ヲ請フ

（分類 27.5.0.18-6(1913) 暗

（日本標準規格 B5）

寫送先

電信課長  
 大臣  
 次官  
 東亞  
 歐亞  
 米洲  
 通商  
 條約  
 情報  
 文書  
 調查  
 人典  
 儀典  
 文書  
 會計  
 祕書官

昭和十四年 三〇四七四 暗  
 臺北 九月五日 後發  
 本省 五日夜着  
 歐

阿部外務大臣  
 第一二九號（至急）

今時歐洲戰爭ニ際シ本島ニ入港スル交戰國所屬船舶相當多數アル見込ナルニ付テハ之カ取扱方針ニ關スル貴省御意見至急御回電ヲ請フ

（了）

外務省

F-0099

0298

(原議用紙乙)

下り港後直ニ支戰國ニ軍用ニ供セシメ  
此船ハ其國籍如何ニ依テ出港セシムル

得

一、中立國船タルト交戰國船タルト間ハ不單ニ戰時林示  
制品ヲ搭載セルノ理由ヲ以テ出港ヲ差止ルコトヲ得ズ

二、商船トシテ到着シタル支戰國ノ船舶ガ其ノ商船  
タル資格ヲ變更シ若ハ變更セント企テ又ハ之ヲ補助

電信案

外務省

(原議用紙乙)

巡洋艦其他ノ武装船ニ變更セントスル意志アリト信  
ズルニ足ルベキ事由アル場合ニ於テハ直ニ其ノ詳細ヲ海

軍ニ通知シ指示ヲ俟ツコト

左記ノ如キ場合ハ變更ノ意志アリト認めラルベシ

(イ) 船舶到着ノ際積載シ居タル大砲ヲ適當ノ位置ニ配  
置シ又ハ其ノ位置ヲ變更スルコト

(ロ) 戰時行為ノ目的ニ適合スル如ク船舶ノ外觀、塗色、

電信案

外務省

(原議用紙乙)

船装ヲ変更スルコト

(一) 戦時用ニ船舶ヲ船装セントスル目的又ハ遠征軍ヲ  
幫助セントスル目的ヲ有スト認めラルベキ状況ノ下ニ於  
テ銃器彈藥ヲ船中ニ積載スルコト

二、上記ニ関係シ特ニ船舶ヲ詳細調査スルコト

四、交戦国商船入港シタルトキ(入港中ノモノヲ含ム)ハ詳

細ノ状況ヲ海軍<sup>(官憲)</sup>ニ通知スルコト

電信案

外務省

(原議用紙乙)

五、交戦国軍艦(武装商船ヲ含ム)、軍用船入港シタ

ルトキハ直ニ海軍<sup>(官憲)</sup>ニ通知シ指示ヲ俟ツベキコト

六、交戦国軍艦商船ノ無電ノ発受(遭難信号

ヲ除ク)禁止ヲ嚴正ニ勵行スルコト

軍艦ニ対シテハ強制ヲ為スコトヲ得ズ(軍艦ニ

対スル場合ニハ海軍<sup>(官憲)</sup>ハ指示ヲ受クルコト

電信案

外務省

F-0099

0300

電信課長

大臣  
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計 會社 祕書官

寫送先

昭和14 三五一四三 暗 臺北 十月四日後發 歐、情

本省 四日夜着

野村外務大臣 千葉臺灣外務部長

第一五三號 (至急)

貴電第一二八號ノ六ニ關シ (交戰國船舶取扱ニ關スル件)

本月一日以降内地各港ニ於テハ交戰國以外關係ノ外國船ニ對シテ  
モ碇泊中ノ祕密無電發受ヲ嚴禁スル爲機械ヲ封印シ居ル趣新聞報  
道アリタルモ右ハ事實ナリヤ當方ニ於ケル取扱振モアリ折返シ至  
急御回電ヲ請フ (了)

外務省

亞局長

第二

昭和十四年十一月十三日

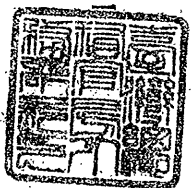
臺灣總督官房外務部長 千葉 泰

外務省歐亞局長 井上 庚二 郎 殿

外發第六一九一號

高雄港碇泊獨逸商船ノ取扱振ニ關スル件

今次歐洲戰爭勃發ニ當リ「ハムブルグ、アメリカ」汽船會社所有  
船「エルムランド」號高雄港ニ避難シ同地ニ碇泊中ナル處今般同  
船ニ對スル本府ノ取扱振ニ關シ在淡水英國領事代理「W・W・マ  
ツクヴェイター」ヨリ別紙寫ノ通申越有之當部ニ於テハ右ノ如キ非  
常識ナル申出ニ對シテハ回答ノ必要ナキモノト被存ルルモ爲念貴  
見御回示相煩度右通報旁々照會申進ス



14.11.15

F.150.18



臺灣總督府

日本標準規格 B列 5番 182x257

F-0099

0301

6034

British Consulate,

Tamsui

November 7th 1939.

Sir,

The Presence of the German ship ERMLAND at Takao is causing some anxiety to the authorities responsible for the protection of British shipping.

The Imperial Japanese Ministry of Marine has, I am told, informed the British Naval Attaché at Tokyo that belligerent ships will not be allowed to arm themselves in Japanese ports. It is however Possible for the Ermland to act as a supply ship for submarines and raiders, I should therefore be very glad to learn from Your Excellency that the Government-General of Taiwan does not intend to allow the Ermland to obtain excessive quantities of fuel, water or provisions.

The case of the American ship "City of Flint", among many others, has shown that the German Navy is operating against neutral as well as British shipping, and I consider it in the general interest of safe navigation to keep German submarines and raiders out of Far Eastern waters.

I have the honour to be,

Sir,

Your Excellency's obedient servant,

His Excellency,  
Shinichi Chiba,  
Director of the Foreign Affairs Bureau,  
Government-General of Taiwan.

Acting Consul.

F-0099

0302

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

昭和15 一六三五—

略

臺北 本省

六月十日午後發  
十日夜着

歐、通

有田外務大臣

第一二二號

伊太利汽船「カリグナノ」號（五七五二噸）ハ馬尼刺ヨリ新嘉坡ニ  
向フ途次最寄ノ港灣ニ入港シ本國政府ノ指令ヲ待ツヘキ旨ノ電報ヲ  
接受セル趣ヲ以テ十日午前六時高雄ニ入港シ目下待機中ナリ尙乘組  
員四十名ハ全部伊太利人ナリ（了）

老總内待參 分類 F. 1. 5. 0. 18

外務省

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

昭和15 二二九三二 (暗)

羅馬 本省

七月二十九日後發  
三十日後着

通

松岡外務大臣

第八〇六號（極祕）

貴電第三五九號ニ關シ（在本邦伊船徵發ノ件）

御來示ノ趣旨原ヲシテ外務省通商局長ニ申入レシメタル處同次長  
ハ日本側意ノアル所ハ充分諒承セルモ何分伊國船ニシテ中立國特ニ  
米國港ニ避難中ノモノ相當數アリ然ルニ米ノ獨伊ニ對スル反感強ク  
且一般ニ船腹不足ノ折柄ニモアリ日本側ニテ徵發ノ形式ヲ取ラレ  
ハ米國ニテモ右ヲ楯トシテ現ニ戰爭ハ爲シ居ラサルモ何等カノ口實  
ヲ設ケ伊國船ニ對シ伊側ニ不利ナル強制的措置ニ出ツルカ如キコト

名件 伊三次 歐洲 戰爭 伊國 船隻 徵發 件

外務省

寫送先

秘書官 會計 文書 儀典 人調 文查 情化 條報 通約 米商 歐洲 東亞

大臣 次官

次官 概覽

電信課長

分類 5.0.18

昭和15 二四四八〇 (暗)

羅馬 八月十日發  
本省 十一日着

通

松岡外務大臣

天羽大使

第八四四號 (極秘)

貴電第三六二號ニ關シ (在本邦伊船徵發ノ件)

九日求メニ依リ往訪セル原ニ對シ外務省通商局次長ヨリ伊國ニテハ日本側對案ニ付慎重協議セルモ目下南北米諸國ニハ交戰國ノ避難商船ニ對シ一方的措置ヲ採ラントスルノ氣配濃厚ナルモノアリ即チ「ベネゼイラ」政府ハ交戰國商船ニシテ開戰後一定期間内ニ出港セサルモノヲ抑留セントシ現ニ「マラカイボ」ニ碇泊中ノ伊國石油船二隻ノ出航方ヲ許可セス目下伊國政府ハ同國ニ嚴重抗議中ナルカ他

外務省

24

無キヤノ點ヲ懸念セラルルニ付兎モ角モ海軍及關係ノ向トモ協議ノ上回答スヘキ旨述ヘタル趣ナリ (了)

外務省

F-0099

0304



面米國政府モ今次「ハバナ」汎米會議ニ於テ南北米諸港ニ避難中ノ  
 交戰國（獨伊佛）商船ニ對シ抑留徵發方ヲ提議シ居ル位ニテ日本側  
 徵發ハ假令一度備船ノ形式ヲ潛ルモ是等諸國ニ好箇ノ口實ヲ與ヘ獨  
 伊避難船舶徵發ノ機運ヲ愈促進スルモノト睨ミ居リ從テ徵發ノ形式  
 ハ飽迄之ヲ避クルコトトシ伊側申出ノ備船案ニ付今一度御考慮相煩  
 度備船困難ナラハ日本側ニ賣却（戰爭終了ノ際伊側ニ取戻ス等ノ條  
 件ヲ含マス）スルモ差支ナシ尤モ伊國船會社ハ法律ニ依リ戰爭其ノ  
 他ノ事由ニ依ル乘組員死傷ニ對シ賠償ノ責任ヲ負ヒ居ルニ付備船ノ  
 場合ト雖モ右責任ハ船體ニ對スル損害ト併セ日本側ニ於テ之ヲ肩代  
 リスルコトヲ條件トスルモノナル旨ヲ述ヘタリ右ニ對シ原ハ日本側  
 ノ徵發案ハ第三國ニ依ル交戰國船舶ノ備船又ハ買取リニ對スル日本

外務省

政府ノ方針及英國政府ノ傳統方針等ヲ慎重考慮シ英國軍艦ニ依ル拿  
 捕ヲ避ケントシテ工夫セルモノナルヘク船體及乘組員ニ對スル廣汎  
 ナル責任ヲ負擔シテ迄モ備船方受諾シ得ルヤ疑問ナルモ別ニ賣却方  
 提案ノ次第モアリ申出ノ趣旨ハ兎モ角東京ニ電報スヘキ旨答ヘ置キ  
 タル趣ナリ（了）

外務省

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人典 儀典 文書 會計 會書 祕書官

F15.0.18

電信課長

大臣 次官

昭和15 二八九一五

(暗)

羅馬 本省

九月二十一日後發 二十二日前着

通

松岡外務大臣

天羽大使

第一〇一七號 (極秘)

貴電第四三三號ニ關シ (在本邦伊船ノ件)

先旨來ヨリ外務省ニ督促シ居ルモ未タ海軍及遞信省ヨリ回答ナキ  
趣ナルカ御來示ノ次第モアリ重ネテ督促シ置ケリ (了)

外務省

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人典 儀典 文書 會計 會書 祕書官

F15.0.18

電信課長

大臣 次官

昭和15 二七四七八

(暗)

羅馬 本省

九月七日後發 七日夜着

通

松岡外務大臣

天羽大使

第九七六號

貴電第四一二號ニ關シ (在本邦伊國船ノ件)

外務省通商局長目下休暇中ニ付先方回答ハ尙數日ヲ要スル見込ナ  
リ (了)

外務省

F-0099

0306

電信課長

大臣

次官

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 情報 調查 人事 儀典 會計 會社 祕書官

寫送先

昭和15 三〇六二五 (暗)

羅馬 十月七日發  
本省 八日前着

通

松岡外務大臣

天羽大使

第一〇七〇號

往電第一〇一七號ニ關シ

伊側回答餘リニ遅ルルニ付或ハ伊太利船ニ對スル米大陸諸國ノ強  
制措置ヲ恐レ本邦ニ對スル貸與ヲ斷念シタルニアラサルヤヲ懸念  
シ係官ニ於テ交通省擔當官ニ問合セタルニ貸與ノ方針ニハ變リナ  
キモ支拂其ノ他ノ條件ニ關聯シ主管省タル爲替省組合省ニ移牒シ  
居ルニ付不日回答ノ運ヒトナルヘキ旨述ヘ居タル趣ナリ爲念  
獨ヘ轉電セリ

外務省

電信課長

大臣

次官

供覽

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 情報 調查 人事 儀典 會計 會社 祕書官

寫送先

(分類 150.18)

昭和15 三一一九三 (暗)

羅馬 十月十二日後發  
本省 十三日夜着

通

松岡外務大臣

天羽大使

第一〇八五號 (極祕)

貴電第三七八號ニ關シ (在本邦伊國船ノ件)

十一日ニ至リ漸ク回答アリタルカ伊側ハ其ノ後極東情勢ノ變化長  
期戰ノ可能性等ヲ考慮セル爲カ從來ノ主張ヲ全然變更シ左記條件  
ニ從ヒ第一案トシテ賣却右困難ナル場合第二案トシテ日本政府ニ  
依ル直接徵發 (日伊商社間ニ於ケル傭船契約ノ手續ヲ經ス)ヲ提  
議シ來リタルカ何レノ場合ニ於テモ船員ハ總テ本國ニ引取り日本  
側ニテ自國ノ旗ヲ立テ船舶ニ對スル一切ノ責任ヲ負擔スルコトヲ

外務省

要求シ居レリ

第一案賣却

價格「コルテラツツオ」一八〇萬弗「カリニヤノ」八五萬弗「ピ  
 エトロオルセオロ」二六〇萬弗（以下金額及人員ハ上記ノ順序）  
 ニシテ賣手ハ價格ヨリ一年毎ニ二四萬弗一五萬弗三四萬弗ヲ夫々  
 低減シタル價格ヲ以テ戰爭終了ノ際右船舶ヲ買戻シ得ルノ權利ヲ  
 留保シ而シテ右買戻ノ際日本側ハ船舶ヲ原狀ニ回復スルノ義務ヲ  
 負フ（但シ買戻スヤ否ヤハ賣手ノ自由ニシテ買戻ノ義務ヲ負フ次  
 第二アラス）代金ハ伊側ノ指定スル銀行ニ弗貨ヲ以テ支拂ヒ又乗  
 組員ハ日本側負擔ニテ歸國セシムルヲ要ス乗組員數ハ夫々四一名  
 四〇名四三名ナリ

第二案

使用料一年ニ付夫々三一萬弗一九萬弗四二萬五千弗ニシテ月拂ト  
 シ伊側ノ指定スル銀行ニ毎月弗貨ヲ以テ前納ス乗組員ハ日本政府  
 ノ負擔ニテ歸國セシメ船舶ニ關スル一切ノ費用ハ保險料ヲ含メ日  
 本側負擔トス日本側ハ充分ノ「スキル」ヲ以テ船舶ヲ管理使用シ  
 「ロイドレゲスター」ニ登録等ノ必要アラハ日本側ニテ之ニ當ル  
 ヘク返還ノ際ニハ船舶ヲ原狀ニ回復スルヲ要ス  
 喪失ノ場合ノ賠償額ハ夫々二九〇萬弗ニシテ喪失ノ日ヨリ四五日  
 以内ニ弗貨ヲ以テ伊側ノ指定スル銀行ニ支拂フヲ要ス尙伊太利側  
 ニ於テハ賣却ノ方ヲ希望シ居ル趣ナリ  
 獨ヘ轉電セリ



電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文部 調查 人典 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和15 三一五四三

羅馬 十月十七日發  
本省 十八日前着

通

松岡外務大臣

天羽大使

第一〇九六號

貴電第四六二號ニ關シ(在本邦伊船ノ件)

「アダ」號ニ付テハ貸與又ハ賣却ヲ欲セサル趣ナリ

獨ニ暗送セリ

外務省

F-0099

0309



電信課長

大臣

次官

次官  
供覽  
濟官

東亞 歐洲 通商 條約 情報 文書 調查 人典 儀典 文書 會計 會計 祕書官

寫送先

分類 F.15.0.18

昭和15 五八九五〇 暗 上海 十一月一日前發 亞  
本省 一日夜着

松岡外務大臣 堀内總領事

第二二四四號ノ一

貴電合第二四一〇號ニ關シ(希臘船ニ對スル措置ニ關スル件)  
方面艦隊ニ於テハ中央ニ於テ三國同盟ニ關聯スル本件方針確定  
ノ際既ニ手遅トナリ居ルカ如キコトナキ様豫メ希臘船ノ逸脱ヲ  
手ノ届ク範圍内ニテ然ルヘク阻止シ置カントノ趣旨ノ下ニ支那  
方面ニ於テ就航中ナル希臘船舶ヲ調査濟ナルモ右ノ内昨三十一  
日上海ニ入港セル *Coulouriskenos* (四九一四噸)ハ米國商社ニ  
於テ備船中ナルモ幸ヒ「ドツク」ニ入りタルヲ以テ右修理中逸

外務省

2

脱防止ノ裏面工作ヲ講スヘク同シク英國商社備船 *Hellenic Trader*  
(二〇五二噸)カ近ク入港スヘキヲ以テ抑留スヘク監視中ナル  
カ其ノ外目下香港、新嘉坡間航路就航中ナル *Pipina* (二七〇九  
噸)及 *Livatho* (一七五六噸)ハ曩ニモ不正轉籍ノ廉ヲ以テ我  
方ニ於テ抑留シ條件附ニテ釋放セルモノナルカ之等ハ遣支第二  
艦隊ニ於テ抑留センカ爲考慮中ナル趣ナリ(續ク)

外務省

F-0099

0311

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和15

五八九四九

暗

上海 十一月一日 後發  
本省 一日夜着

亞

松岡外務大臣

堀内總領事

第二二四四號ノ二

本件抑留ハ支那沿岸ニ於ケル支那船ニ對スル航行遮斷ニ關聯シ  
船籍調査ノ名目ヲ以テナサントスルモノニシテ海關ヲ通シ正式  
ニ出港ヲ阻止スルカ如キハ我意圖ヲ外部ニ洩ス結果ニ陥ルヘキ  
ヲ以テ不可トナシ居レリ

ニ海軍側ノ意嚮ハ本件希臘船對策ハ三國同盟ニ基キ帝國政府ノ採  
ルヘキ措置ト云フヨリモ寧ロ本邦船腹不足カ希臘ノ參戰ニ依リ  
拍車ヲカケラレルヲ恐レ（英國海軍ニ於テ太平洋上ノ希臘船ニ

外務省

2

對シ其ノ安全ノ爲至急英國領内ニ避難スル様勸告シタル旨ノ情  
報アリ此ノ際一面我方參戰ノ結果行使スヘキ抑留權ヲ以テ威  
嚇シ又出來得ル限り逸脫ヲ阻止スルト同時ニ他面右抑留セラ  
ルカ如キ結果ニ陥ランヨリハ此ノ際日本ト備船契約締結シ置ク  
コト得策ナル旨ヲ仄カシ以テ出來得ル限り安價ニ備船スルニア  
ル如シ

三、當方トシテ彼上ノ如キ海軍側ノ態度特ニ外交上ノ紛糾ハ差シテ  
懸念シ居ラサルカ何等新規措置ヲ採ラントスル際ニハ聯絡協議  
方打合セタリ

南大、北大、天津、青島、廈門、汕頭、廣東、香港、威海衛へ轉  
電セリ

外務省

F-0099

03 12



電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 調查 儀典 文書 會計 秘書官

次官 依覽

昭和15 三二八九四 暗 本 省 十一月一日後發 通 歐  
二日後着

松岡外務大臣

奥田總領事代理

第一九一號

希臘船 Moscha I. Gollandris ハ屑鐵ヲ積込ミ「バルチモア」發日

本向ノ途中本國政府ヨリ航行中ノ希臘船ハ英國又ハ米國ノ港ニ入  
ルヘキ「ラデオ」命令ニ接シタル趣ヲ以テ三十日當地ニ入港セリ  
右代理店ニ付確メタル處目下在倫敦本社ニ對シ今後ノ行動ニ付照  
會中ナルカ同様日本向希臘船三隻一日入港ノ豫定ナル趣ナリ(了)

寫送先

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 調查 儀典 文書 會計 秘書官

次官 依覽

昭和16 二六二七 略 羅府 一月三十一日後發 調 通  
本省 二月 一日夜着

松岡外務大臣

福島領事

第一八號

三十一日附新聞ハ當地ニ傳ヘラルル情報トシテ日本政府ハ伊太利  
側ノ德滙ニ依リ目下本邦竝ニ支那沿岸諸港ニ在ル希臘船五十隻  
(大部分ハ不定期貨物船ニシテ當地ヲ經由セルモノ)ニ對シ「ク  
リアランス」發給ヲ許否シ之カ抑留ヲ企圖シ居ル旨報セリ  
米へ暗送セリ

寫送先

(分類 F150.18)

外務省

外務省

記録係 第一八號の記録、海運課に及ぼす  
影響を付



秘

電信寫

大東亞省

(三)此種通譯ニ付、後、其ノ力ノ減衰ノ具、此スルコトヨリ、佛印ノ  
 爲ニ大局ト最モ得難ト爲ハルル所ヲ以テ、且  
 國軍ニ補足ヲ具ヘタル上ニテ、其ノ補給主スヘキ佛印ノ海軍上ノ  
 艦ニ付シテ、其ノ補給アル場合ニハ、大東亞省モ、何等ノニ之カ對策  
 ヲ考案シ、日本政府ニモ考案ヲ求メ、待ヘシ  
 ト、思科スル所ヲ附函シ、(一)乃至(四)ノ計畫ハ、其ノニモ充分説明シ  
 道カレ、通シト也ヘタルニ、河部侯ハ之ヲ了感シタル所ナリ  
 向、其ニ於テハ、日清印各岸ニテ、船隻進出法ヲ考案中ノ、要録ナリ  
 請テハ、本件ニ付シテハ、當分、成行、通譯ノ上、通テ、同分ノ、申送スル  
 迄、本省ヨリハ、軍方、同ニ、通譯、通ナキ、要録、送シ

外、通譯ニ、要録、送セリ

(丁)

F-0099

03 15